

お知らせ

平成26年5月2日
資料提供先 福山市市政記者クラブ

児童が地球温暖化防止に挑戦！ ～駅家西小の5年生が、環境問題に取り組みます～

福山都市圏では、渋滞緩和と地球温暖化防止を目的に福山都市圏交通円滑化総合計画を策定し、ノーマイカーデーの通年実施方策である「備後のCO2削減『ベスト運動』」を主体施策として推進しているところです。

今回総合計画の一環として取組んでいる小学校TFPについて、駅家西小学校において実施することとなりましたのでお知らせします。

小学校TFPとは、習慣となっているクルマ利用を見直す“きっかけ”づくりとして、環境問題について学習し、児童自らCO2を減らす交通行動変更プランの提案を行い、保護者の方に実践してもらう取組みです。

なお、過去に取り組みを実施した小学校において、3年連続で環境大臣賞を受賞しています。（別紙参照）

○開催日時

STEP1 [平成26年5月9日（金）10：45～12：20]

（ 3～4校時 5年生1組2組の合同授業 ）

STEP2,3 [平成26年5月27日（火）8：45～12：20]

（ 1～2校時 5年生1組, 3～4校時 5年生2組 ）

STEP4 [平成26年6月20日（金）10：45～12：20]

（ 3校時 5年生1組, 4校時 5年生2組 ）

○場所

福山市立^{えきやにし}駅家西小学校（福山市駅家町近田205-1）

※取材される場合は、事前のご連絡いただけると助かります。

※駐車場は、小学校内にあります。

●お問合せ先

福山都市圏交通円滑化総合計画推進委員会 事務局

福山市建設局都市部 都市交通課長 ^{かみぞの}神園 敦之

〒720-8501 広島県福山市東桜町3-5

TEL084-928-1209

広島県東部建設事務所 事業調整特別班 主幹 ^{つぼうら}坪浦 伸泰

〒720-8511 広島県福山市三吉町一丁目1-1

TEL084-921-1311

国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所 調査設計第二課長 ^{いまち}井町 和正

〒720-0031 広島県福山市三吉町四丁目4-13

TEL084-923-2620

福山都市圏交通円滑化総合計画ホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/enkatsu/best/index.html>

○ 駅家西小学校の5年生が、地球温暖化解決に向けて取り組みます！

※1：福山都市圏交通円滑化総合計画では、学校TFPを施策の1つとして取り組んでいます。(参考資料参照)

▼各STEPの概要

回	概要
STEP1	問題・原因を知る ・環境問題全般と地球温暖化について知る 【地球温暖化実験】 ・クルマから排出されるCO ₂ が多いことを知る
STEP2~3	対策・方法を考える ・CO ₂ を削減するためのクルマに代わるプランの作成
STEP4	提案する ・削減効果の持続を目的とした「かしこいクルマの使い方」を考える

【授業の様子(例)】

STEP1

地球環境問題全般と地球温暖化について知る

問題・原因を知る



STEP1 動機付け

普通の空気と排気ガスが入った容器に赤外線ランプを放射し温度差を計測、CO₂による温暖化の影響を知る

STEP2~3

クルマからのCO₂を減らす方法(行動プラン)を考える

対策・方法を考える



STEP2 実行意図

保護者の方のクルマを使った行動から、CO₂を削減するための行動プランを考える



STEP3 実践

自ら考えたCO₂を削減するための行動プランを整理して、保護者の方へ実践してもらえるようお願いする

STEP4

地球温暖化を解決する方法(かしこいクルマの使い方)を考える

体験・発表・提案する



STEP4以降 効果把握等

自ら提案した行動プランによるCO₂削減量を知り、「かしこいクルマの使い方」を継続してもらうためのメッセージシートを作成

◆福山都市圏交通円滑化総合計画の取り組み

- 福山都市圏交通円滑化総合計画推進委員会では、渋滞緩和と地球温暖化防止を目的に、ノーマイカーデーの通年実施方策である「**備後のCO₂削減『ベスト運動』**」を主体施策として推進しています。
- 『ベスト運動』に、より多くの方が参加していただくため、**習慣となっているクルマ利用**を見直していただく“きっかけ”として「**学校TFP**」を支援施策として位置づけています。
- 今回の取り組みは、小学校でTFPを実施するものです。



まずは「月に1回」できることから始めてみませんか？

自分の通勤方法を考える！それが「ベスト運動」です！

自転車通勤
自転車通勤ならCO₂の排出量は**ほぼ0%**
※朝ラッシュ時マイカー通勤との比較

時差出勤
渋滞していないからCO₂の排出量は**1/2**
※朝ラッシュ時マイカー通勤との比較

時間を「ずらせば」スイスイ進むわ

例えば月に1回こんなこと…

公共交通機関の利用
CO₂の排出量は鉄道なら**約1/7**、バスなら**約1/2**
※朝ラッシュ時マイカー通勤との比較

相乗り
相乗りする人数が増えれば増えるほど**効果大!**



3年連続で地球温暖化防止活動環境大臣表彰（環境教育・普及啓発部門）を受賞

□平成21年度受賞 **福山市立駅家西小学校**（表彰式 平成21年12月2日）

知ろう 学ぼう 守ろう 駅家の自然 わたしたちの生活

～ふるさと駅家を愛し、豊かな心と感性を育む環境教育の推進～

「地球温暖化防止」を全学年の教育課程の中に系統的に位置づけ、特に5年生においては平成17年度より毎年、CO2削減のため、「地球温暖化」と「交通問題」をテーマとした学校TFP（トラベル・フィードバック・プラン）を総合的な学習として実施し、その結果を地域に発信してCO2削減の啓発活動を展開しています。また昨年度より「ESD（持続発展）教育」の観点を取り入れ、個々の児童の発達段階に応じた環境教育の調査研究、普及活動を行うなど、新しい環境教育に対する視野の広がり、持続可能な未来の担い手育成に貢献しています。



□平成22年度受賞 **福山市立内海小学校**（表彰式 平成22年12月15日）

みんな未来の担い手に～動き出そう内海っ子～

内海小学校では、環境保全のための地球学習観測プログラム事業に平成19年度から参加し、5年生児童が町内における気象観測に継続して取り組んでいます。日々の気象観測は、地球温暖化をはじめ環境問題に対する児童の興味や関心を引き起こし、地球温暖化と自分たちを育んでくれる町の自然や産業の関係についても考えるきっかけとなっています。また同校は平成16年度から環境教育、エネルギー教育を中心とした持続発展教育に取り組んでおり、平成20、21年度には「マイカー利用を見直して二酸化炭素を削減しよう」を5年生が実践しました。これは児童が提案した行動プランに基づいて保護者がマイカー利用を見直すことで、どれだけCO2が削減できるかをメッセージカードにし、移動手段の見直しに取り組んだものです。また「海を調べよう」が契機となり、広島県地域事務所、福山市、地元自治会が一体となった2ヶ年計画での海浜粗大ごみ一掃活動につながりました。



□平成23年度受賞 **福山市立旭丘小学校**（表彰式 平成23年12月14日）

発信！エコライフ～地球温暖化を防止するための改善策を考える～

自動車から排出されるCO2の排出量削減方法について学習を深め、マイカーや公共交通機関の上手な利用で、地球温暖化を防止する改善策を考えています。また、様々なテーマで各学年の教科内容に環境教育の要素を組み込むことで児童への意識付けを行い、環境出前授業、バス会社調べ、バス利用者アンケート、調べ学習のまとめ、テーマ別グループ発表、全国オムニバスサミットなどにおける発表、環境会議の開催、環境保全のためのオリジナル曲の製作など、全市的・全国的な場面へ積極的に参加しています。学校と保護者・地域が一体となった取り組みを行っており、CO2の排出量削減のため短距離移動は徒歩や自転車を利用してもらうなど、この旭丘地域から着実に地球温暖化防止の実践の輪が広がっています。東日本大震災以降、緑のカーテン大作戦も児童の家庭や地域にも普及し、学区をあげて省エネ・節電並びに地球温暖化防止の活動が繰り広げられています。



※出典：環境省・報道発表資料